あけましておめでとうございます

小林哲夫

賀状は新しい年へのメッセージでありたいと思う。けれど，夢や希望を語るにはあまりにも嘘っぽい世の中になってきた。新年を迎えても，なぜか前向きに生きようとする気持ちがわいてこない。

こう書き出したら「お前は甘い」という声が聞こえる。『知的生活習慣』，『老いの整理学』など90歳を過ぎてなお数多くの著書を世に出している「知の巨人」や80歳を越えかつ大病を乗り越え，地方大学の理事長や教材業界発展のために東奔西走されている「最高顧問」から見れば，私はあまりにも青二才にちがいない。

昨年の最大の成果はこの人生の大先輩「雲の上の人」お二人と「会食」の場を持てたことだ。緊張と刺激に満ちた時間であったが，70歳近くになっても，自分の思考や行動がまだまだ未熟で修行の途中であることに気づかされる。日暮れて道遠し，負を語るなかれ，先を学ぶべしだ。

昨年のエディットは短期間に大量の基礎教材を制作する中学改訂期の年で，多忙を極めた。それでもブックフェア（プロダクションEXPO）への18回目の出展や2泊3日の社員旅行－東北の旅をすることができた。奥入瀬の渓流や十和田湖，中尊寺，松島，宮沢賢治記念館を巡ったが，あえてコースに加えてもらった南三陸の旅と「語り部バス」は慰安や観光であることを吹き飛ばした。

AJEC（日本編集制作協会）から私に与えられたミッションは何とか後ろ指をさされずにやってきたと思う。月1回の「編集教室」は力ある講師に恵まれ，参加者も増えた。初めての試みであった「編集プロダクションフェア」も期待以上の成果を得たと思う。しかし私個人はそろそろ卒業の時期を迎えた。

人はだれも「夢中」になるものを見つけ，それを追いかけて生きている。小，中，高，大学時代とそれぞれに夢中になるものがあった。私は卒業後3つの会社を渡り歩いたが，やはり何かに夢中になってきた。43歳でエディットをつくってからは，まさに夢中の連続，無我夢中，体も頭も日々フル回転だった。しかし26年も過ぎると，いつのまにか希薄になっていく。いまは自分は何に夢中になっているのか，思い当たらない。危機感が薄くなった分，夢中になるものも少なくなってきたのか。これから益々「覚悟の時代」になっていくというのに……。

昨年は海外旅行を楽しむ機会を失った。欧米もアジアも治安が悪くなって外へ出にくい状況になっているが，そのせいではない。私の怠慢だ。しかし国内での旅は多少楽しめた。社員旅行の東北の旅を除いても，京都は三度ほど訪れ，哲学の道や比叡山を散策した。富山八尾の「風の盆」（前夜祭）は雨に打たれたが，第二の故郷でもある金沢はあまり知られていない彫刻と緑の小道「白鳥路」などを一人歩いた。そのほか蓼科や福井（三方五湖・恐竜博物館）などをドライブ。旅行ではないが4月のポールマッカートニーのコンサートも思い出に残っている。

自由は孤独と引き換えに手に入れるものらしいが，今年はどんな自由が待っているのか。まずは新しい「夢中」を探すことから始めよう。

エディット社員旅行── 東北3県2泊3日の旅（2015年7月）

八尾・金沢ひとり旅── 雨の白鳥路（2015年8月）photo by Kobayashi

AJEC編集プロダクションフェア第1回── 講演会も開催（2015年10月）

企画・執筆・編集・制作
株式会社エディット
代表取締役　小林哲夫
http://www.edit-jp.com/

名古屋本社	〒451-0046 名古屋市西区牛島町2-10 フリーベル1F TEL:052-586-0631（代） FAX:052-586-0632
東京オフィス	〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-28 飯田橋ハイタウン727号 TEL:03-5225-0981（代） FAX:03-3266-5072
大阪オフィス	〒541-0041 大阪市中央区北浜3-5-19 淀屋橋ホワイトビル606号 TEL:06-6208-0501（代） FAX:06-6208-0502

（過去の賀状は：http://www.edit-jp.net/room/nenga.htmlにあります）